



特集！！「意見交換会の意見・要望を市長に申し入れ」

本郷川にかかるこいのぼり

目次

- ② 意見交換会の意見・要望を市長に申し入れ
- ⑥ 3月定例会審議内容
3月定例会審議結果
- ⑦ 各委員会報告
- ⑪ 議会親子傍聴室の整備
- ⑫ 行政視察報告
- ⑯ 6月定例会（予定）
にいみ市議会だよりの表紙写真を募集
- ⑯ 一般質問（代表質問・個人質問）
- ⑯ 市民の声・編集後記

2024年5月
第25号

にいみ 市議会だより

新見市議会広報紙 3月定例会

議会が変われば まちが変わる



テーマ

『みんなで考えてみませんか「子育て支援」や「子育てのこと』

市長に申し入れをしました

～令和5年度の議会報告・意見交換会でいただいた
子育て支援や子育てに関する意見・要望の行方～

テーマ『みんなで考えてみませんか「子育て支援」や「子育てのこと』で実施した意見交換会での意見・要望について、議会では、次のように対応しました。

① 議会には、3つの常任委員会があります。いただいた140余りの意見・要望を分類し、それぞれの常任委員会に振り分け、検討・協議しました。

② 確認が必要な32の意見・要望は、担当の所管課の職員に現状を確認し、必要な事柄については、改善等の対応を要請しました。3つの常任委員会で検討・協議した残りの意見・要望は、12項目に分類し、「子育て支援及び子育て環境の改善に関する提言書」にまとめました。なお、12項目の意見・要望には、全て議会としての提言を付しました。

③ 3月22日、議長・副議長・3常任委員会委員長が市長室を訪れ、提言書により、申し入れをしました。

PICK UP!!

提言内容の一部抜粋をわかりやすくお伝えします



高校生への通学補助の見直しを

● 提言内容

市内高校通学者への定期券購入補助は、目的とした高校魅力化につながっていない。また市外高校へ通学させる保護者に不公平感を抱かせている。購入補助を廃止し、その財源を高校魅力化事業や他の子育て支援に充ててもよいのではないか。



新見高校の魅力化を

● 提言内容

「明日の新見高校を考える会」は、新見高校のより望ましい存続を求め、要望書を提出するなど様々な活動を行ってきたが、現在の活動はやや停滞気味のように思われる。本会の活動を活性化させ、プロジェクトチームを創設することはできないか。また、会長は市長が務めているが、民間人から選出することが望ましい。

高校の魅力化を推進し、より望ましい存続を維持するためには、現在の行政サイドの体制では不十分である。教育委員会が主体となって「新見高校存続の対策チーム」を創設し、取り組んでいただきたい。



中学生の希望等を踏まえた新見高校の部活動を再編するよう尽力、支援をしていただきたい。



子育て世代への住宅支援の拡充を

● 提言内容

子育て世代の定住を推進する上で住宅支援のさらなる拡充が必要と考える。また、補助金等については、市内外の業者を問わず柔軟に対応されるよう求める。





相談的支援の充実を（保健師の支局配置を）

● 提言内容

従前から、各支局に気軽に相談できる保健師を配置してほしいという要望が強く感じられる。各支局に健康に関して専門的な知見を有する保健師が配置されることこそ、一人ひとりに寄り添い、地域の誰をも取り残さない保健行政に通じるのではないか。議会としても、保健師の支局配置を強く求める。



子育て世代に安心な医療体制の構築を

● 提言内容

小児科医療の夜間診療体制の充実は、解決の糸口が見えない課題である。しかしながら、次のような点の改善を図ることによって、保護者の不安感をある程度払拭できるのではないかと考える。

- ① 急な病気やけがをした時の応急処置の仕方、子ども の病名などを学ぶ小児医療についての講座を開く。
(新見公立大等と連携)
- ② 万一の場合の、相談体制の周知徹底を図る。
- ③ 救急車による搬送、病院での治療についての情報の 発信及び連携ネットワークをしっかり構築し、周知 徹底を図る。



放課後児童クラブの運営の見直しを

● 提言内容

放課後児童クラブは、核家族で働く保護者 にとっては、大きな助けとなっているが、運 営に携わる保護者にとっては、大きな負担と なっている。その運営を教育委員会、もしくは民間委託するなどの措置を求めたい。また、放課後児童クラブで利用している施設が十分 かどうかの調査の実施や、不足しがちな指導 員への待遇改善等も検討していただきたい。





部活動の地域移行について、方向性や在り方等は

● 提言内容

部活動の地域移行については、保護者に対して、その都度、準備や進捗の状況、課題、今後の見通しなどについての丁寧な情報提供が強く望まれる。



学校教育の質向上と不登校問題克服を

● 提言内容

児童生徒の不登校を、どのような手段方法で改善していくのか、また、学力低下の原因分析とその改善方法についても、教育委員会の真摯な取組が見えてこない。可能な情報はもっと積極的に開示していただきたい。

同時に広く市民参加を得ての、「不登校の改善及び学力向上に関する教育会議」の設置も検討していただきたい。



その他、提言書にまとめた意見・要望及び提言内容は
ホームページに公開していますのでご覧ください。



令和6年度から、小中学校での給食費が実質無料化になります。これは、これまで多くの議員が、一般質問で訴えてきた成果でもあります。

今後、議会としても子育て世代の皆さんにどんな支援が重要なのかをしっかりとと考え、行政に働きかけたり訴えたりしていきます。

子育ては、子どもやみんなの未来を創っていくものです。そのためには、より良い方向に今を変えていくことが大切です。今を変えていく大きな力の一つが、皆さんのが声であり、それに応える政治の力であると考えます。今後も、しっかりと皆さんの声を議会に届けていただきますよう、お願ひいたします。 新見市議会 議員一同

令和6年3月定例会 審議内容

令和6年3月新見市議会定例会は、2月21日から3月22日までの31日間開催しました。条例27件、予算17件、その他議案5件、請願1件、陳情2件、発議4件、人事4件が審議されました。

このうち、議案第3号「国際貢献大学校メディカルクリニックの指定管理者の指定について」において、出生数の減少により令和7年度以降「分娩機能の廃止」を行う方針としましたが、今後も本市は少子化対策に取り組むことを求める附帯決議を行いました。

また発議3号及び4号では、議員のなり手不足検討特別委員会において、議員報酬、政務活動費、期末手当等の内容について、本会議において議論され、賛成多数で原案可決されました。

主な審議結果は以下のとおりです。なお、詳しい内容は、各委員会報告のページをご覧ください。

令和6年3月定例会 審議結果

●議案の部

各議案の審議結果



こちらのQRコードを読み取っていただき、インターネットで「新見市 議決結果」で検索してください。

条例	27件原案可決	予算	17件原案可決
その他議案	5件原案可決	人事	4件原案同意
発議	4件原案可決		

●請願・陳情の部

請願・陳情番号	請願・陳情名	結果
請願第5号	新見公立大学の通学路の街灯整備に関する請願	継続審査
陳情第12号	公的年金の削減中止と物価上昇に見合う年金支給額の改善を求める陳情	趣旨採択
陳情第13号	公営塾開設についての陳情	採択

●発議の部

発議番号	発議名	結果
発議第1号	新見市議会会議規則の全部改正（案）	原案可決
発議第2号	新見市議会委員会条例の一部を改正する条例（案）	原案可決
発議第3号	新見市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例（案）	原案可決
発議第4号	新見市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例（案）	原案可決

●議案に対して賛否が分かれたもの

議案番号	議案名	議席番号														
		1 土 屋 司 将	2 林 田 一 芳 也	3 崎 田 芳 人	4 仲 田 照 雄	5 西 川 裕 生	6 岡 崎 英 基	7 宮 本 英	8 小 河 俊 文	9 岩 田 秀 文	11 藤 澤 正 之	12 林 田 正 則	13 塩 澤 光 和	14 橋 本 亨 明	15 古 川 英 子	
条例第27号	新見市介護保険条例の一部を改正する条例 委員会結果：採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○
発議第3号	新見市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 委員会結果：原案採択	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	欠	○	○	×	○
発議第4号	新見市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例 委員会結果：原案採択	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○

※「○」は賛成、「×」は反対。「欠」は欠席。議長は表決に加わりません。10番は欠員。

各委員会報告

適用の有無によりらず手当を支給できるよう、よりよい制度を作れないか。

答弁 特殊勤務手当は、職員が劣悪な環境で勤務するこ

とに対して、日当の手当を支給するものである。柔軟に対応したいと考えている。

●条例第10号 豊永財産区管理会条例を廃止する条例

委員問 豊永財産区の山林は

はもつないのか。

答弁 豊永財産区の山林は10筆、面積は約64haある。

委員問 解散によって山林は地元に移管されるのか。

答弁 土地の名義は新見市であり、山林についても市の財産となる。しかし、財産区がこれまで管理をしており、収益も上がっていたため、市が引き継ぐよりは、財産区の収益につながるような形で地元に渡したいと考えている。

委員問 手当の支給要件は。

答弁 他市で災害救助法が適用される災害が発生し、職員を派遣した場合に支給する。災害救助法の適用が遅れた場合は遡って手当を支給する。

委員問 職員は大変危険ないか。

答弁 既存の街路灯の設置者や管理者について調査が必要。勝手に行くため、災害救助法の

報告事項について

●新見駅前駐輪場・駐輪場の

共用開始について（総務課）

工事が完了し、3月1日から供用を開始した。駐輪場は205台から272台となつた。

あわせて、駐輪場の跡地に、

駐車枠を増設する工事も完了した。また、駅前広場駐輪場と、駅西第1駐輪場の自動精算機を新札やカード決済、電子決済に対応できるものに変更している。

総務消防委員会
新見商工会議所青年部の大学生交流支援事業からの請願を審査

3月7日に本委員会を開催し、付託された議案と請願の審査を行いました。

付託事件の審査

【請願・陳情の部】

●請願第5号 新見公立大学の通学路の街灯整備に関する請願

主な質疑・意見

○既存の街路灯が24基あるが、増設するのか。

○もつと明るいものを新規で設置してほしいのか。

○防犯灯は電気代を地元が負担している。市が肩代わりするわけにはいかないのでないか。

○既存の街路灯の設置者や管理者について調査が必要。勝手に行くため、災害救助法の



街灯設置の状況

【議案の部】

●条例第26号 新見市職員の特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例

委員問

手当の支給要件は。

答弁

既存の街路灯の設置者や管理者について調査が必要。勝手に行くため、災害救助法の

以上、2件を含む13件について、審査の結果、反対の意見はなく原案のとおり可決しました。

文教福祉委員会

新見高校からの陳情を審査、採択

文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会を2月21日、3月8日、19日に開催し、付託された議案等の審査を行いました。

付託事件の審査

付託された条例12件、議案3件の審査を行いました。主

なものは次のとおりです。

●条例第27号 新見市介護保険条例の一部を改正する条例

諸物価高騰の中、介護保険料の月額基準額を増額すべきではないとして反対討論の発言もありましたが、挙手による採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決することに決定しました。

●議案第3号 国際貢献大学校メディカルクリニックの指定管理者の指定について

国際貢献大学校メディカル

クリニックが令和6年度末をもって分娩対応を廃止することは、子育て支援を重要政策として取り組む本市にとって大変遺憾であるものの、出生数の急激な増加は見込めない中、やむを得ない苦渋の決断であることを理解し、全会一致で原案のとおり可決することに決定しました。

を付することとしました。

その他の案件については反対討論の発言はなく、全会一致で原案のとおり可決することに決定しました。

【請願・陳情の部】

●陳情第12号 公的年金の削減中止と物価上昇に見合う年金支給額の改善を求める陳情

12月定例会からの継続審査となつて、陳情第12号については、年金受給者の厳しい生活実態を考慮して採択すべきとの賛成意見もありましたが、将来にわたつて年金制度を維持継続させていくための仕組みであるマクロ経済ストライドの必要性を軽々に否定することはできないことから、願意は十分に理解するものの、趣旨採択が相当との意見が多く、挙手による採決の結果、趣旨採択することに決定しました。

●陳情第13号 公営塾開設についての陳情

陳情第13号について趣旨説明を受けた後、質疑を行いま

した。本市の現状や先行自治体への調査に基づく公営塾開設の具体的な手法を示し、民業圧迫に配慮した民営塾と公営塾の住み分けにも言及した内容であり、子供たちの学力向上のみならず、子育て支援や人口減少対策にもつながる政策として大いに検討する意義があるとして、全会一致で採択することに決定しました。

3月11日に審査を行い、原案のとおり可決しました。主な質疑や議案説明内容は次のとおりです。

○審査内容：条例第23号から第25号の3件と議案第1号の計4議案について

3月11日に審査を行い、原案のとおり可決しました。主な質疑や議案説明内容は次のとおりです。

●議案第23号 新見市営単独住宅条例の一部を改正する条例について

委員問 答弁
対象となる市営住宅（すずらんハイツ）を廃止する条例であるが、根拠となる住宅の状態と今後の入居見込みは。

当住宅の裏には山が控え、進入路は川を渡る細い橋であり、大雨が降ると非常に危険な状況である。現在、入居者も退居されており、関係団体との協議でも入居希望はなかった。駐車場もなく、一般市民にも募集できない状況

業建設委員会 常任委員会 産線変更

付託事件の審査



（新見高等学校普通科2年生の生徒2名がグループを代表し、委員会で陳情の趣旨説明を行いました。）

世代に対するマイナスアピールとならないよう、分娩対応の廃止による指定管理料の減額を原資とし、出産、育児支援策の充実を求める附帯決議

である。

●議案第1号 市道路線の変更について

議案説明

哲多町矢戸及び荻尾の市道と県道について、次のとおり県と市の相互移管を行うため市道の路線を変更する。

(1) 荻尾地内の広域農道(約3・8km)と市道吉清線(約160m)は、県道北房井倉哲西線として県へ移管する。

(2) 矢戸地内から荻尾地内を結ぶ旧県道は、

①市道宇兎春(おとうす)線(約770m)

②林道への移管区間

③県道として継続する区間(無明谷の矢戸地内進入禁

止区域・約1・3km)

が管理することとする。

委員問 無明谷の県道区間にについて今後の見通しは。

答弁

当該区間については現在も通行止めであり、今後も通行止め区間ということです。県が管理を行うことになつて

報告事項について

執行部からの主な報告事項は次のとおりです。

●農業畜産振興課：ふるさと新見応援基金を活用し、ジビエ加工品レシピ製作事業を行った。去る2月15日木曜日には、レシピの完成試食会を実施し、イノシシ肉のハムやイノシシ肉を煮込んだイタリアの伝統料理などが提供された。



今も通行止めの県道

答弁 商品化やメニュー化を進めたり、ふるさと納税の返礼品にも加えたりしながら、広くジビエ消費を促していきたい。

●商工観光課：いぶきの里スキー場圧雪車については、定期的な運転日誌の確認や聞き取り調査など、折に触れて適切な対応を求めている。また、3系統のリフトは、夏山利用の認可をされていないことが令和3年になって報告されている。グリーンシーズンのスキー場利活用について、提案内容の一部でも実施されるよう引き続き指定管理者と協議したい。



新しいJAリンドウ選花場

予算決算 常任委員会

令和6年度当初予算、令和5年度補正予算を可決
予算執行に厳しい指摘も

予算決算常任委員会を3月13日、14日に開催しました。

各議案について、反対討論の発言はなく、全会一致で原案のとおり可決することに決定しました。ただ、補正予算の審査の中で、複数の委員から、予算の不用額の発生について、厳しい意見や指摘が相次ぎました。執行部から提案され、認めた予算なので、しっかりと

執行するよう要請しました。

●予算第1号 令和6年度新見市一般会計予算(257億5743万円)

●予算第2号 令和6年度新見市診療所特別会計予算(1億5949万円)

●予算第3号 令和6年度新見市国民健康保険特別会計予算

商品化やメニュー化を進めたり、ふるさと納税の返礼品にも加えたりしながら、広くジビエ消費を促していきたい。

●商工観光課：いぶきの里スキー場圧雪車については、定期的な運転日誌の確認や聞き取り調査など、折に触れて適切な対応を求めている。また、3系統のリフトは、夏山利用の認可をされていないことが令和3年になって報告されている。グリーンシーズンのスキー場利活用について、提案内容の一部でも実施されるよう引き続き指定管理者と協議したい。



新しいJAリンドウ選花場

商品化やメニュー化を進めたり、ふるさと納税の返礼品にも加えたりしながら、広くジビエ消費を促していきたい。

●商工観光課：いぶきの里スキー場圧雪車については、定期的な運転日誌の確認や聞き取り調査など、折に触れて適切な対応を求めている。また、3系統のリフトは、夏山利用の認可をされていないことが令和3年になって報告されている。グリーンシーズンのスキー場利活用について、提案内容の一部でも実施されるよう引き続き指定管理者と協議したい。

算（33億8506万1千円）

●予算第4号 令和6年度新

見市介護保険特別会計予算

（4億6753万1千円）

●予算第5号 令和6年度新

見市後期高齢者医療特別会計

予算（6億5721万6千円）

●予算第6号 令和6年度新

見市観光事業特別会計予算

（7470万9千円）

●予算第7号 令和6年度新

見市萬歳財産区特別会計予算

（78万8千円）

●予算第8号 令和6年度新

見市水道事業会計予算

●予算第9号 令和6年度新

見市下水道事業会計予算

付託事件の審査2

●予算第10号 令和5年度新

見市一般会計補正予算（第9号）

●予算第11号 令和5年度新

見市診療所特別会計補正予算（第3号）

●予算第12号 令和5年度新

見市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

●予算第13号 令和5年度新

見市介護保険特別会計補正予算

算（第4号）

●予算第14号 令和5年度新

見市後期高齢者医療特別会計

補正予算（第3号）

●予算第15号 令和5年度新

見市観光事業特別会計補正予

算（第3号）

●予算第16号 令和5年度新

見市豊永財産区特別会計補正

予算（第1号）

●予算第17号 令和5年度新

見市萬歳財産区特別会計補正

予算（第1号）

このうち、予算第1号新

見市一般会計予算の審査で

は、新見千屋温泉いぶきの里

施設管理委託料（2992万

円）について、昨年の附帯決

議を踏まえた質疑がありまし

た。複数の委員から、なお一

層の営業努力を指定管理者に、

集客を図るための効果的なP

R活動に力を入れることを執

行部にそれぞれ厳しく求める

意見が出ました。また、総務

管理費の情報通信施設整備に

係るIRU契約の更新について、

将来の指向性を示すよう指摘しました。

主な質疑は、次のとおりです。

委員問 移動式投票の対象

となる選挙費と設置場所は。

答弁 市長選挙費、県知事

選挙費であり、高校、大学、

健康の森学園である。

3台分の購入費である。

委員問 デジタル推進費で

のLINE活用の効果は。

答弁 双方向性が高いこと

から、アンケート調査や、道

路損傷個所の連絡など情報発

信に有効と考える。



移動期日前投票所の実施検証の様子

委員問 空き家活用推進事業補助金の4040万円の積算は。

委員問 残土処分場適地選定についての基本的な方向性

は。また、県道新見勝山線トンネル工事から出る残土の処分方針について示されたい。

答弁 残土置き場が数か所

得られるよう確保に努めたい。

トンネル工事の残土は、6万

m³の見込みであり、金谷地区

の嵩上げに使用したいと考えて

おり、県と協議している。

委員問 地域バス対策費の車両購入費900万円の内容

答弁 大佐地域で実証運行している乗合タクシー車両、

にいみ市議会だより 第25号

議員のなり手不足 検討特別委員会

市民の皆さんから
の意見を踏まえ、
議員報酬を協議し、
決定しました

主な協議事項

3月12日に議員のなり手不足検討特別委員会を開催しました。12月定例会で報酬を上げる方向性を示し、令和6年2月の議会よりで市民の皆さまからの意見を募集しました。その結果3組（6人）の方々からご意見をいただきました。内容は「議員のなり手不足は報酬だけの問題ではない。報酬を改定するのであれば、若者や子育て中の議員には高い報酬を、年配の議員は低く抑えるなどの年齢で報酬額を変える方法を検討すべき」「物価上昇しても年金は上がらない、水道、下水道料金も上がる中、なぜ議員だけ若者に熱い思いを沸かせ、憧れるに値する議会活動を行つ

てほしい」（要約）などの意見を元に慎重に協議を行なった結果、次期改選後から月額報酬36万円（現33万円）、議長45万5千円（同42万5千円）、副議長38万5千円（同35万5千円）に改定し、政務

活動費も5万円（同3万円）に引き上げることに決定しました。また、1年間の時限措置として、令和6年度の6月と12月支給の期末手当を1・5カ月から1・65カ月に改定することを決めました。

議会親子傍聴室をご利用ください

- **設備**
・調乳のためにお湯が必要な方は、お申し出ください。
- **利用の仕方**
傍聴の当日、傍聴受付でお申し出ください。
- **利用可能日**
本会議が開催される日
- **対象者**
乳幼児及び児童並びにその保護者や引率者・議場での傍聴が困難な方及びその付き添いの方



市議会だより第24号（2月1日発行）の訂正とお詫び

にいみ市議会だより第24号（令和6年2月1日発行）において、下記のとおり誤りがありました。訂正するとともに深くお詫び申し上げます。今後、チェック体制の強化に取り組んでまいります。

（訂正箇所）

● P11 2段目の10行目

誤) (略) 次期改選後から現在の報酬33万円、政務活動費3万円を報酬36万円、政務活動費5万円に改めることにし、(略)
正) (略) 次期改選後から現在の報酬33万円を36万円、政務活動費3万円を5万円に改めることにし、(略)

● P21 1段目の16行目
(岸田議員の一般質問)

誤) 水稲生産者へ市独自の支援をどのようにしていくのか。
正) 不足する後継者の育成についてどのような事業を行っているか。

行政視察報告

議会運営委員会

議会運営委員会では、令和6年1月31日と2月1日に滋賀県彦根市、京都府京都市を視察しました。

彦根の子ども議会

1日目は、滋賀県彦根市が取り組んでいる「子ども議会」について視察研修しました。

「子ども議会」は、小学生が政治への関心を深め、社会参画への意欲を培い、保護者に市議会や行政の取組をより身近なものと感じてもらうことを目的としています。



子ども議会の視察研修の様子
(彦根市)

日は、1グループ8人の3グループに分け、1人5分で質問する流れになっています。子ども議員の親や兄弟・親戚も参観することができ、議会や市政をより身近に感じてもらう良い機会となっています。また、議場開放の取組としては、「議場コンサート」、議会広聴の強化としての「出張！議会広聴の日」、「大学との連携」を行っているようでした。

京都の親子ふれあい議場見学会・子ども議場見学

対象は、市内の小学6年生で、最大24人とし、執行部、教育委員会、議会の三者共催で行っています。

8月（夏休み中）に事前研修として、質問の仕方及び質問書の作成方法の説明後、質問内容を決定し、質問を作成する。開会1週間前にリハーサルを実施し、11月の本番当

守山のまちづくり

2日目は、京都府京都市議会で開催している「親子ふれあい議場見学会」と、学校教育の一環として議場を見学す

総務消防常任委員会



子ども議場見学等の視察研修の様子
(京都市)

る「子ども議場見学」を視察研修しました。

「親子ふれあい議場見学会」は、市内在住の小学4年生から6年生とその保護者を対象に、例年11月上旬に午前・午後の2部構成で開催され、各25組が90分間見学を行います。

令和5年度は、46組112人の参加がありました。集合写真撮影、議会のPRグッズ配布、次回以降の見学会に生かすためのアンケートを実施し、概ね好評の回答を得ています。

行政の取組をより身近に感じてもらうための機会を提供する様々な取組を実施している市議会への視察研修であり、新見市議会としても「開かれた市議会」への取組に生かしていきたいと考えます。

の1)、人口は約8万5千人(新見市の3倍)です。

まずは、まちづくり全般について説明がありました。守山市では、人口が年間500～600人増加しているが、移住者がなかなかまちづくりに参加してくれず、状況をいかに改善していくかが課題で

あるようでした。市内の自治会加入率は、90%と高い数字であり、「市民が主役のまちづくり」として、市民参加と協働のまちづくり、市民活動団体の支援など特色ある環境学習に取り組んでいます。

市民が主体的に市政に参画する機会を大切にしながら、市民とともに「子育てするなら守山」、「住むなら守山」、「働くなら守山」、「市民が主役のまちづくり」の4つの政策の実現に努めており、「自分たちのまちは、自分たちで守ろう、自分たちが創ろう」という自治精神を持つことが重要と考えているようでした。新見市においても、このことは大変重要な施策と捉えました。次に、近年建設された新し



北部図書館「本の湖」の視察研修の様子 (守山市)

い施設を視察しました。新しい市役所庁舎では、職員は衣服の軽装化で1年をとおしてノーネクタイです。また、新庁舎の供用に合わせ、ペーパーレス化の徹底や庁舎内の固定電話を廃止し、携帯化するなどの働く環境の改革も進んでいいると感じました。

令和5年11月に開館された北部図書館「本の湖」では、多世代における住民交流の拠点として近隣には、こども園、幼稚園、小学校、中学校などがあり、赤ちゃんから高齢者まで利用されています。図書館の2階にはテラスもあり、天気の良い日には、外で本が読める環境にもなっていました。

ます。発電で得られた電気は、余剰施設全体の電気を賄い、余剰分は電力会社に売電し、タービン排熱は交流拠点施設の温水プールへ熱供給しています。本市においても、ただ燃やすだけでなく焼却熱を利用し、の発電施設が必要であり、今後の課題と感じました。

令和3年9月に新築された、
もりやまエコパーク環境セン
ターでは、熱回収施設の1日
の処理能力が71トンで、全国
的に見れば小規模な施設です
が、ゴミの焼却に伴って生じ
る熱を利用し高温高压の蒸気
でタービンを回して発電を行
い、全国最高水準エネルギー
回収率8・5%を達成してい

A group of approximately ten people, mostly men in dark suits, are gathered in a room, looking at a large whiteboard that features a complex, multi-colored flowchart or diagram. The diagram is composed of various boxes, arrows, and lines in blue, red, and green, representing a process or system. The people are standing in a semi-circle, facing the whiteboard, and appear to be discussing the content. The room has a modern, professional feel with a large window in the background.

協働事業、情報受発信、まちづくり相談、人材育成、活動支援を行つております。まちづくり協議会へのホームページ運営や会計・税務・労務等のサポートまで実施しています。また、認定NPO法人くさつ未来プロジェクトと連携し、

市民協働の取組として、事業団は、草津市の100%出資の財団法人であり、草津市協働のまちづくり条例に規定されている中間支援組織に指定され、市の協働の取組を定され、市の協働の取組をバックアップしている団体です。

草津のまちづくり

2日目には、近畿圏での住みよさで2013～2017年の5年間連続1位の草津市を視察研修しました。面積は約68km²（新見市の12分の1）、人口は約14万人（新見市の5・3倍）です。

13

子育て世代に対して、親に学ぶ方法を提供し、すべての世代の人と人が繋がる場所や仕組みを社会につくり、そのことを通して大人と子供も夢を持ち実現できる社会を目指してまちづくりの推進を図る活動をしています。今回の2日間の視察を通して、「自分たちのまちは、自分たちで守ろう、自分たちが創ろう」という自治精神を持つことが重要であると感じました。また、市民の意識を変えていることが大きな課題であります。今後、様々な支援を継続的に実施していくことがまちづくりに繋がることを改めて実感するとともに、今回の一回の視察で得た知識を踏まえ、JRローカル線利用促進・新見市にふさわしいまちづくりの発展に生かしてまいります。



草津市コミュニティ事業団への視察研修の様子（草津市）

6月定例会（予定）

8日	5日	4日	3日	2日	7月1日	28日	27日	26日	25日	24日	21日	6月17日
(月)	(金)	(木)	(水)	(火)	(月)	(金)	(木)	(水)	(火)	(月)	(金)	(月)
閉会式 本会議	議会運営委員会	委員会（予備日）	議会広報特別委員会	JRローカル線利用促進・ 存続問題検討特別委員会 議員のなり手不足検討特別 委員会	予算決算常任委員会	産業建設常任委員会	文教福祉常任委員会	総務消防常任委員会	本会議（予備日）	本会議・一般質問	本会議・一般質問・議会運 営委員会	開会式 本会議

にいみ市議会だよりの表紙写真を募集しています

にいみ市議会だよりの表紙写真を募集しています。（縦または横写真）応募者ご本人が新見市内で撮影された写真のうち、未発表のものが対象です。にいみ市議会だより発行の5月、8月、11月、2月の1か月前を締切とし、1人5点以内とします。

▼応募方法

①応募者の氏名、②住所、③電話番号、④撮影場所を明記のうえ、写真のデータ（8MB以内）をメール：「gikai@city.niimi.lg.jp」までお送りいただき、写真やデータ等を、〒718-8501 新見市新見310-3 新見市議会事務局までお送りください。



▼注意事項

- ・表紙写真に採用された方にはご連絡を差し上げます。
- ・ご応募いただいた写真やデータ等は返却しません。
- ・肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関しては、応募者ご本人よりご確認ください。これらのトラブルには新見市議会は一切の責任を負いません。

般質問



会派
仲なか
田だ
芳よし
人と



津山駅のエレベーター

「ヒト・モノ・カネ」の流れを変えるインバウンド誘客を

問 施政方針に外国人旅行者誘客への言及がないが、インバウンド取り込みの考えはあるのか。

答 本市の観光振興を図る上で重要と考えている。令和5年度は高梁川流域連携で、台湾に影響力のあるインフルエ

得て、バスで市内を巡り、新見の魅力をSNS発信してもう事業を企画してはどうか。答　外国人視点での新見の魅力発信につながる有効な手段であり、企画していきたい。問　大きな荷物で移動するインバウンド受け入れに関連し、新見駅バリアフリー計画の進捗状況を聞きたい。

ンサー や メディア を 対象 に 市
内 ツア ー を 実施 し て お り 、 そ
れ を 踏まえ 、 外 国 人 観 光 客 の
誘 客 を 促 す Web や 雑 誌 の 摄
影 が 予 定 さ れ て い る 。 県 や 民
間 団 体 と 連携 し 効 果 的 な 情 報
発 信 に 努 め たい 。

人口減少問題対策会議の復活を

問 令和元年度廃止の産官学 金言による「人口減少問題対

「策会議」について、対策と実行に軸足を置いた会議として復活してはどうか。

答 官民が連携して人口減少対策を検討、推進することは重要と考えており、会議の組織や役割を研究したい。

「新見未来創生戦略(八策)」 提案への所感は

問 地域資源を活かし未来を切り拓く八策の所感を聞きたい。（うち「未来産業にかけてみよう」と「オーベルジュを創ろう」への所感を載録します。）

答 太陽光発電廃パネルのリサイクル装置を開発した市内

【問】非営利公益的活動を広げるため、自治意識を育み、市民団体活動を支える「中間支援組織」を創つてはどうか。

【答】地域運営組織ネットワーク会議で人材育成などを研修していく。今後も地域づくりの

この他、生徒の望む新見高校部活の創設支援、地域学適正な職員数などを質しました。

事業所は承知している。事業が具体化され、必要な支援があれば既存制度も含め対応したい。また、本市は脱炭素を推進しており、その観点で連携した取組は可能と考えている。

事業所は承知している。事業が具体化され、必要な支援があれば既存制度も含め対応したい。また、本市は脱炭素を推進しており、その観点で連携した取組は可能と考えている。

代表質問

(議員紹介)

個人質問

岡崎裕生
(会派)みんなのにいみ



- 問 地震災害の備えは
- 答 災害支援の基本的な方針は。
- 問 災害支援の基本的な方針は。
- 答 国のガイドラインに沿つて人や物資の支援を行う。独自のガイドラインは考えていない。
- 問 被災者の受け入れについての方針は。
- 答 市営住宅の提供や生活必需品の支給などの支援を行っており、市は、市営住宅の提供や生活必需品の支給などの支援を行っている。
- 問 福祉避難所のあり方や医療支援体制は十分か。
- 答 県内各自治体とも災害時相互応援協定を締結し、相互に収容や施設の提供を行う体制が整っている。

制ができる。県においても、DMAT(ディーマット)・災害派遣医療チームなどを派遣する緊急医療体制ができる。

市内経済の行方は

問 市内企業への新規就職の状況と新規就職者確保の方針については。

答 市内の高校生の新規就職者数については、令和3年度が28名、令和4年度が19名、令和5年度が14名であった。新規就職者確保に向けて、ふるさと定住支援金・IJUTAーン就職奨励金・合同就職フェア・Web版市内企業ガイドの発信などに取り組んでいる。

問 市内平均給与水準引き上げについて本市のビジョンは。

答 それぞれの企業努力に加え、市内経済を循環させることが重要であると考えている。民間における経済ビジョン策定に関しても、経済振興につながる話なので市も参画し連携して取り組んでいきたい。

教育の成果と方針は

問 幼児教育の取組の方向性は。

答 幼児教育は学校教育の基礎を培う上でも大変重要な時期と捉えている。「新見市保育・教育カリキュラム」を策定し保育と教育で統一した教育を行っている。保育・教育の一貫体制は今のところ考えていっていない。



遊びの中で成長する子ども達

- 問 インクルーシブ教育の成果と今後の方針は。
- 答 特別支援教育推進センターを核に、就学前からの一貫した支援体制や小中学校の授業改善が図られている。研修を充実し教職員の指導力向上と共生社会の実現を図つてまいりたい。

問 学力向上に向けた取組は。

答 全国学力測定調査は、教科指導の充実や学習状況の改善に役立てる調査であると考えている。その結果を踏まえ、さらに授業改善に努めていきたい。

西川照雄
(会派)みんなのにいみ



- 問 移動手段の確保について
- 問 乗合タクシーの利用者からは、土日・休日運行や利用時間の拡大を求める声もあるが、どのように対処するのか。
- 答 運行日や運行時間の拡大は、運転手の確保の課題もあることから、全ての地域での運行を開始した後に、検討したい。
- 問 タクシー券は、申請希望者が多い場合、早い者勝ちに

なることを危惧する。このようない場合は、どのように対応する方針か。

答 令和5年度の助成対象者を400人としていたが、令和6年度については、600人分の事業費を計上しており、希望される方に届くものと考えている。

問 新たに設ける住民組織による無償移送サービス支援制度の内容はどのようなものか。

答 買い物や通院等の移送サービスを無償で行う住民組織に対して、その経費の一部を助成することを想定している。

問 運行経費を継続的に支援するのか。保険の負担や事故があつた際の責任の所在は。

答 助成の期間など制度内容は、これから詳細に検討する。

助成対象は、車両リース料、燃料代、人件費、保険料などを想定している。

問 新見市地域公共交通計画の基本目標に自動運転やライドシェアは、盛り込まれていない。自動運転実証実験も行なながら、なぜ盛り込まれなかつたのか。



市内を運行する乗合タクシー

答 実証実験の課題整理や調整を行い、長期実験を経て、社会実装する計画であつたが、ビジネスモデルの確立は困難であると判断した。また、ライドシェアについては、計画策定時に具体的な取組などを想定し難い段階であつたことから、基本目標に含めていない。

問 自動運転やライドシェアについては、検討するに値しないというスタンスか。

答 バスやタクシーの運転手不足解消と、市民の移動手段の確保のための有効な手段と認識しているが、国の動向を注視したい。

問 乗合タクシーのエリアを跨ぐ移動についての課題にどのように対応するのか。

答 助成の期間など制度内容は、これから詳細に検討する。

助成対象は、車両リース料、燃料代、人件費、保険料などを想定している。

答 要望も承知しているが、事業者の運行可能範囲もあることから、全ての地域に導入した後に検討したい。

橋 本 亨 子
はし もと きょう こ
日本 共産党

新見駅の利便性向上について

問 バリアフリー化計画の具体的な案はどのようなものか。

答 JRと市でレイアウトの協議を行つてある。色々な案を検討中で完成の時期は今示せない。

問 事業費の規模の見通しはどうか。

答 委託先と協議中で今は示せない。令和6年度中には先方から計画が示され、再度協議していく予定である。早期の実現に向け検討していく。



みどりの券売機（新見駅）

問 みどりの券売機の設置で窓口業務は終了するが、どのような影響が想定されるか。

答 駅員またはオペレーターの対応があり大きな影響はないと考えている。

問 高梁市は2年前に券売機が設置され機器の操作が上手にできない、オペレータの指示内容が理解できない、駅員がいても手助けしてもらえない状況があり、電車に乗り遅れる人がいると聞くが承知しているか。

答 詳しくは把握していないが、利用者に対し丁寧に対応してもらうよう要請している。

問 券売機の設置で駅員の体制が減ることは無人化への布石ではないか。無人化にしないよう要請して欲しい。

答 利用者に不利益が無いよう強く要望していきたい。

医療費助成制度の拡充について

問 精神障害者への市独自の医療費助成対象を1級のみとしたのはなぜか。

答 現在の医療費助成制度による3障害の公平性を考えた。

問 65歳以降に障害者認定を受けた方への公費負担の適用はできないか。

答 申請により後期高齢者医療の対象となり心身障害者医療制度と同程度の負担となるため、公費負担の対象としていない。

子どもを産み育てやすい環境整備の拡充について

問 産後のケア体制の拡充を。

答 産後ケア入院事業など市内産科医療機関で実施しているが、新年度から利用条件の緩和や利用料金減免制度の導入、利用できる医療機関の拡充など充実を図り、市報や市のホームページ、産科医療機関を通じPRしていきたい。

土屋 すすむ
(会派) 紋民クラブ



森林ICTプラットフォーム(森林情報管理)について

問 現在の進捗状況は。

答 情報ネットワーク整備及びシステム構築を進めている。

現在は、航空写真や森林計画図などのデータ入力およびシステム構築がおおむね完了し、検証作業を行っている。令和5年度に、プロポーザルにより発注を行った。事業費は4

800万円で、国のデジタル田園都市国家構想推進交付金により2分の1補助を受けた。

問 地籍調査の進捗率は。

答 令和5年度末時点で、約36%である。

問 多くの民間業者が利用できるようにしては。

答 データの公開については、個人情報などの一部データを除き、境界が明確となつている森林や、樹種の情報などをインターネット上で一般公開する予定。

介護ロボットの導入について

問 介護ロボット導入支援の



取り付け中の太陽光パネル

考えは。
答 介護職員の負担軽減に一定の効果があると考えている。まずは事業者のニーズの把握を行いたい。

太陽光パネルの廃棄について

問 太陽光パネルの廃棄について、県とどのような連携を行っているか。

答 太陽光パネルの廃棄については、産業廃棄物となり、対応は県の取扱い業務である。問い合わせがあれば県へ対応を依頼し、県から調査依頼があれば協力している。

林 はやし
司 し
朗 ろう
(会派) みんなのにいみ



に取り組んでいる例はあるか。

答 デジタル教科書を採用しているものがある。総合的な学習の時間等でアプリを導入して「自分事」として防災を学ぶ時間を設けている学校もある。

問 建物の耐震やインフラの整備はどのようになっているか。住宅の耐震診断、耐震補助の状況は。

答 平成18年度から令和5年度までの住宅耐震診断改修事業の実績は、耐震診断が52棟、補強計画が27棟、耐震補強工事が7棟、建替え工事3棟となっている。

問 耐震改修工事の負担軽減のため、補助金の増額を検討してはどうか。

答 改修費用の負担が大きいことから、補助限度額の引き上げを検討したい。

問 避難所の状況はどのようになつてあるか。指定避難所の数・場所は適当か。また、見直しは行われているか。

答 指定避難所の数は104カ所で適当と考えている。見直しは、毎年状況に応じて行つてある。

問 学校との連携はどのようになつてあるか。地震発生時の避難体制はどのようになつてあるか。

答 新見市学校管理規則により避難訓練を学校、地域の実態に応じ、年間4回程度実施している。

問 デジタル端末を活用した体験型の学習により防災教育

が続く中、新年度当初予算案には、大胆な改革を盛り込んだ。基幹産業である石灰業、A級食材、文化観光施設、公立大学などの魅力あるコンテンツがある。これらの魅力をより研ぎ澄ましていくことが、より、ヒト・モノ・カネが流入するまちにしていくことが、できると考えている。

問 新見高校普通科だけが激減している。このままでは普通科はなくなり、若い夫婦は市外に転出し、人口減少がさらに加速する。市長の考えは。

答 普通科がなくなつてしまがない。全力で普通科が残るよう努力する。

問 市内の中学生が新見高校に進学した割合は、令和3年度が63%だったが、今年度は44%に減少した。その要因は何か。

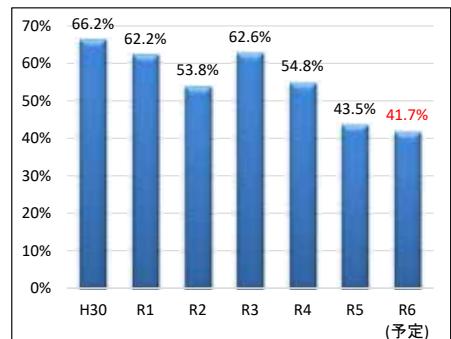
答 希望する学科や部活がないことなどで、市外の高校に出られている。魅力化を図る

様々な取組を行つてきたが、進学率は伸び悩んでおり、大変危機感を感じている。

宮 みや
本 もと
英 ひで
基 き
(会派) 紋民クラブ



問 新見高校普通科だけが激減している。このままでは普通科はなくなり、若い夫婦は市外に転出し、人口減少がさらに加速する。市長の考えは。



新見高校に進学した割合

問 市内温泉入浴料について

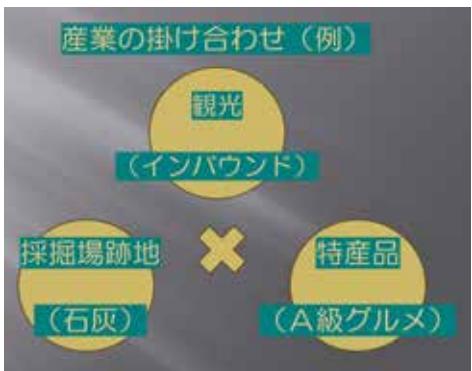
答 指定管理者の収入源につながるため考えていらない。

問 入浴料の一部をにーみんポイントで還元できないか。

答 利用者増加と市内の経済循環につながると思われるの

で指定管理者と協議を行いながら有益な実施方法について調査研究を行う。

市長の公約ヒト・モノ・カネについて



提案した産業の掛け合わせ（例）

答 例えば、観光（インバウンド）×石灰（採掘跡地）×特産品（A級食材）の掛け合わせ。採掘場跡地の洞内にレストランや入浴施設などを造り、外国人旅行客を誘致してはどうか。

観光協会と研究していく。

問 市民の所得を増やすために、新見でしかできない事業をすべきではないか。

答 例えば、観光（インバウンド）×石灰（採掘跡地）×特

新見市森林公園牛丸大仙について



塩
飽
満
路
(会派) 紋民
クラブ

問 再整備と活用についての考えは。また、都市部との交流再開や全国植樹祭を記念した植樹を行う考えは。

答 各施設は整備後20年以上が経過し、老朽化しているため利用者が憩えるような適正な管理を行いたい。また都市と農村との交流促進や記念植樹などもこの公園の管理ボランティア団体などと協議したい。

新見市処理センター最終処分場施設について

問 現在の埋め立て状況と災害廃棄物の処理を含めた新たな埋め立て施設の整備方針は。

答 金谷土地区画整理事業は、本市の人口減少抑制に資する魅力的な住宅地整備と市街地道路網のネットワーク強化を目的としている。

また、施策の柱に掲げている「ヒト・モノ・カネが流入するまち」の基本となる事業であると考えている。今後も地権者をはじめ市民の皆さまのご賛同のもと早期に完成さ

金谷土地区画整理事業について

問 この事業の意義や今後のスケジュール及びこの事業に対する市長の思いを伺いたい。

答 事業に関連する橋梁や踏切の整備はあるのか。

答 金谷土地区画整理事業は、本市の人口減少抑制に資する魅力的な住宅地整備と市街地道路網のネットワーク強化を目的としている。

危険木伐採に対する支援について

問 民家に迫っている、大きくなりすぎたり、枯れてしまつて、いつ倒れてくるかわからない危険木を伐採するのに補助金を創設する考えは。

答 現在3槽に分割された最終処分場施設の最後の槽を使用しており、令和12年度の埋め立て完了を想定している。次期最終処分場の整備については、令和6年度に災害廃棄物の処理も含めた新たなごみ処理計画の策定を予定している。これに基づき可能な限り早期に新たな埋め立て施設の建設に着手したい。

また、高梁川を渡る幹線道路の橋梁も区画整理事業の進捗に合わせ取り組む。金谷踏切についても区画整理事業と合わせより安全な位置に移設することとしてJR西日本と協議を進めている。

小
河
俊
文
(会派) 紋民
クラブ



答 現在のところ岡山市、倉敷市、真庭市、吉備中央町では危険木伐採に対する補助金があるが、本市では補助制度創設は考えていない。



ふるさと納税について

問 ふるさと納税の過去3年間の状況は。

答 令和3年度は3222件で約6652万円、令和4年度は5382件で約1億157万円、令和5年度は今年1月末現在5965件で約1億2043万円。本年度は設定していた1億2千万円の目標額に達している。市民の他自治体への寄付額は、令和2年度は252人で約1993万円、令和3年度は424人で約2941万円、令和4年度は529人で約3680万円。

峠 田 一 カズ や
無会派



ふるさと納税について

問 今後の本市の人口推移の予測は。

答 「第3次総合計画」策定時、平成30年に発表された国立社会保障・人口問題研究所

問 墓掃除などの役務を提供するような返礼品の登録はあるのか。

答 今現在、墓掃除などの役務提供の返礼品の登録は無い。

問 新見市オリジナルICOCAを返礼品にすることはできなきいか。

答 返礼品の基準が年々厳格化され、現在では新見市オリジナルICOCAに付与するに1みんポイントは基準を満たさない。

問 過去5年間の移住者への空き家活用推進事業補助金の交付件数、及び定住の状況はどうなっているか。

答 交付件数は、平成30年度9件、令和元年度7件、令和2年度13件、令和3年度12件、令和4年度13件であった。平成30年度から令和4年度までに交付した54件のうち、転出は1件であった。

問 移住定住推進課が来年度に向けて取り組む新たな施策はあるか。

答 「新見de子育て体験事業」を試行する他、「ふるさと市民ディスカバリーツアーアクション」を実施する予定である。また、既存の「ふるさと定住支援金」と「IJUターン就職奨励金」を統合して、新規

の推計値によると、令和12年に2万1997人に減少する予測だった。昨年末発表された推計値によると、2万2850人に改善されている。しかし、依然として厳しい状況にあり、産業振興や移住定住対策、子育て環境の整備など様々な施策に取り組みたい。

問 県内市町村でほとんど実施されていない保育所や認定こども園の第1子からの保育料全員無償化を実施して子育て世代の若者の流入や定住を図る考えはあるか。

答 現在、第3子より無償化しており、他市と比較しても子育ての環境は充実しており、安価な料金設定になっている。無償化については、今後も引き続き国の方へも要望していくつもりである。

問 児童数減少に伴う小学校統廃合の考えはあるか。

答 最適な教育環境が整備できるような計画の検討をしている。統合に当たっては、地域住民と保護者の考えを第一に尊重するよう努める。

立社会保障・人口問題研究所



本市合併20周年記念事業について

問 記念事業として備作山地県立自然公園「大佐山」山麓への「森の館」整備を地元団体等が市長要望された。その後の調査・研究の経過と状況は。



森の館の構想写真

答 本市鳥獣被害防止対策協議会で貸し出し用にイノシシ用21基を所有している。更新や追加購入の必要があり、高校生と一緒に地域課題の解決に取り組むことが大事で積極的に推進したい。

問 大日高原の眺望もすばらしく、地元からの要望も有り早期の着工をすべきでは。

答 既存施設の老朽化等により利用者が減少傾向である。このような状況の中、観光振興を図る提案であり、施設整備については、要望内容をより具体化させ、維持管理面なども含め、どのような役割を担う施設が有効であるか、検討していきたい。

古川英明
副議長



市内事業所における担い手不足解消のための施策は

問 新見高校に獣害捕獲柵の製作を依頼しては。

鳥獣捕獲柵の設置状況は

答 大佐地区の方々からご提案のあつた「森の館」の整備については、既存施設の有効活用や整備統合など、将来的

な大日高原全体の観光振興の方向性をデザインする中で、どのような役割を担う施設が有効であるか、調査・研究したい。

問 本市の担い手不足の実態を把握しているか。特に深刻な業種は何か。

答 新見商工会議所と阿哲商工会が実施した人材不足に関するアンケート調査結果から把握している。特に深刻な業種は、医療・福祉、建設業、サービス業である。

問 担い手不足解消のために、外国人や障がい者の雇用に取り組む考えはないか。

答 外国人などの雇用を促進することは有効な手段と考える。事業者が実施する外国語表記のホームページやパンフレット作成などに対し中小企業支援事業補助金、多言語化対応事業により支援している。障がい者雇用については、ほほえみ広場にいみを中心に関係機関と連携し就労支援を行っている。

問 市内には法定雇用に關係する事業所が少ないが、少人数の事業所であつても、健常者に混じって障がい者が頑

障がい者の就労支援について

張って働いている状況を創り出していくことが大切だと考
える。そのためには、障がい者雇用を推進する「新見市障
がい者雇用推進条例」を制定してはどうか。

答 条例は最終的には目指したいが、まずは現在策定中の新見市障がい者計画に基づいて、総合的な就労支援の充実と施策の展開を推進していく。引き続き、障がい者一人ひとりの状況に応じて、積極的に障がい者の雇用に努めていきたい。

認定こども園・保育所におけるおむつの取扱いについて

問 子育て世代の支援事業としておむつのサブスクリプション導入や無料化を検討する考え方はないか。

答 保護者の希望調査を実施した上で、必要性、利便性、各園での業務の効率性を考慮し、検討したい。

岩田秀之
いわたひでゆき
公明党



防災・減災について

問 能登半島地震の災害状況を捉え、近い将来に発生が想定される南海トラフ巨大地震に対する今後の危機管理の取組について、市長の考えは。

答 新見市地域防災計画（震災対策編）を策定し、市民の生命、財産を守るために、危機感をもつて備えている。また、令和6年能登半島地震により、国や専門機関等の検証が今後行われ、これまでの震災対応のあり方が見直された際には、新たな防災計画に適切に反映していく考え方である。

問 木造住宅密集地での火災を防ぐための感震ブレーカーや家具転倒防止金具などの設置などを進めていく考えは。

答 今後、市報などで新たな耐震化の補助制度の紹介に併せて、感震ブレーカーや家具転倒防止の重要性についても啓発していく考えである。

問 地震が発生してからの避難所での情報収集の考えは。

答 災害時の情報収集手段として、ラジオを携帯することはこれまでも奨励してきたおり、非常持ち出し袋等にも常備しておくことを様々な媒体や機会で啓発している。また、主要な指定避難所には、非常持ち出し袋を常備しており、発電式ラジオも合わせて常備しているが、その他の指定避難所への常備については、今後、研究をしていく。

問 地震災害で電気や水の供給が止まつた場合の対応はどう考えているのか。

答 指定避難所における初期は、停電時の電源に関しては非常用発電機、水に関しては備蓄している保存水で対応する。次の段階では、災害協定を締結している電力会社や他の自治体に応援を求めていく考え方である。



非常用持ち出し袋と備蓄品

問 能登半島地震では、孤立地域が発生し、物資が届かない状況があり、本市においても孤立地域の可能性もあると思うが、現在の備蓄箇所を増やす考えはあるのか。

答 現在の備蓄品は公民館等24カ所に配備しており、備蓄品には消費期限の問題などもあることから、適切に管理することで、最寄りの避難所への配達を想定し、複数の経路を設定するなどして、孤立地域の発生を防ぐ考えである。

市民の声

みなさん、こんにちは。「市民の声」コーナーです。担当議員が皆さまの元に出向き、インタビュー形式でご意見要望等を伺いました。今回は、30代女性(新見)にお話を聞きました。

Q 「議会だより」の感想は

全面カラーになり、デザイン性も向上し親しみが持てます。24号掲載の議会報告・意見交換会『子育て支援や子育てのこと』に参加し、議員の方と直接対話ができ、それぞれの個性を知り、議会をより身近に興味を持つようになりました。

Q 議会への要望は

若い世代はケーブルテレビを契約していない人が多く、SNS配信やYouTubeでのライブ配信などで議会の様子や市政が分かるようにしてほしい。SNS等で発信すると、ふるさと市民はじめ、市外の人も新見を知る機会が増えると思います。

Q 市政への意見要望は

①保育サポーターの時給は最低賃金を下回っており、最低賃金まで引き上げて制度運用すべきだと思います。②子どもの遊び場が少ない。特に雨の日でも遊べる屋根のある施設設備の整備充実を望みます。③中学高校に専門家や有資格者を迎える、適切な資産形成のできる人づくりのため、マネーリテラシー教育の充実を図ってはどうか。④もっと積極的に企業版ふるさと納税に取り組み、「自ら稼ぐ」力を備えてほしい。⑤地域おこし協力隊員の募集・採用について、漫然と隊員募集するのではなく、ミッション(使命)を明らかにし、まちの課題解決に行政と協力隊が力を合わせて取り組めるようにすれば、定住率も高まるのではないかでしょうか。

Q 新見市の将来について

新見市の2055年の人口は1万3260人と予測されています。中国自動車道と国道180号のある人流と人口を重ねた時、継続的に新見駅前開発を行う意義があるでしょうか。多くの予測データを開示し、市民がより賢い選択ができるようにしてほしい。また、市内の企業は、子育てや介護に寛容な考え方・制度に欠け、行政の働きかけも乏しく、昭和の体質にあります。これでは若者が新見に住むメリットはなく、企業は人手不足に陥り、経済活動は弱まるばかりでしょう。官民でワークライフバランスのとれた職場づくりに取り組み、若者も住みたい生活しやすいと思える魅力的なまちづくりを進めてほしい。

ご意見・ご提案は

新見市議会事務局内
議会広報紙編集係

〒718-8501
新見市新見310-3
電話:0867-72-6151
FAX:0867-72-6183



メール
gikai@city.niimi.lg.jp

陳情第13号「公営塾開設についての陳情」は所管の委員会で、県立新見高等学校代表鶴藤咲奈さんから詳しく分かりやすい資料を添えて説明がされました。同校の生徒による陳情は、平成30年に始まり今回が7回目。これまで「採択」5件、「一部採択・趣旨採択」3件、「不採択」3件でした。

採択のうち、「街灯設置について」などは既に実施され、趣旨採択となつた「新見市内の選挙における投票率向上について」も次期選挙で期日前投票期間中に移動投票(専用車両で投票する)を行う予算も議決しました。

さて、この陳情の審査で各委員から多様な質問が出ましたが、鶴藤さんの的確な答弁は、質問者が理解を得るに適し、結果、委員全員の「採択」となり拍手が送られました。

鶴藤さんは「陳情提出に関わり行政・議会などの地方自治の勉強ができ、社会の一員としての自覚が芽生えた」と語られました。

なお、賛成討論で、「市内同業者は、児童生徒数が減少する中でその経営も厳しいものと察し、民業者の運営参画等も含めて十分な協議を求める。」と発言がありました。

(鶴藤
正則)

編
集
後
記